

第 4 章 附設栄養専門学校

1 概要

本校は、昭和24年4月に大阪市立生活科学研究所附設栄養学院として創立された。

当時は、終戦直後の混乱期で、極度の食糧不足により市民の栄養状態は非常に悪く食生活の管理や向上に携わる栄養改善のための指導者の養成が急務であった。そのため創立時は、厚生大臣指定の栄養士養成施設として1年制でスタートしたが、昭和25年4月に栄養士法の改正に伴い2年制となった。また同年9月には、研究所の改称により衛生研究所附設栄養学院となった。

その後、昭和49年12月に研究所の新築移転、改称に伴い、本校も環境科学研究所附設栄養学院と改称した。

昭和51年に学校教育法が一部改正され専修学校制度が発足し、本校は同年12月に文部省令による認可(専門課程)を受け、昭和52年4月から大阪市立環境科学研究所附設栄養専門学校と改称し、現在に至っている。

また、専修学校の専門課程の修了者に対する専門士の称号の付与に関する規定(平成6年6月21日文部省告示第84号)の制定に伴い、本校課程を修了した者に対して、専門士の称号を授与することが認可(平成7年1月23日文部省告示7号)されたので、平成7年3月卒業生から専門士(衛生専門課程)の称号を授与することとした。

本校創立以来、平成21年4月で60周年を迎えたが、その間にわが国の社会・経済情勢は大きく変化し、食生活をめぐる状況も食糧不足の時代から供給過剰時代へと著しい変貌を遂げた。その結果、国民の体位は改善され、平均寿命に関しては世界のトップになった。しかし、その反面、過剰栄養や栄養のアンバランスに起因する生活習慣病や肥満などの増加や、朝食の欠食、不規則な食事などの食生活習慣の問題が生じ、人びとが生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむための食育を推進することが重要となってきた。本校は、このような生活環境の変化に対応しうる食生活の指導者である栄養士を養成するために、不断にカリキュラムの見直しを行い、その時代の要請に即応した専門知識、技能及び、教養を修得させる教育を行ってきている。

また、学校教職員は、健康指標からみた食生活調

査や栄養改善のための基礎資料となる研究を行うと同時に、行政機関が主催する各種講習会に講師として参加し、地域住民等への正しい食生活、栄養知識の普及啓発に当たっているほか、栄養士等の卒後教育にも力を注いでいる。

2 業務および行事

(1) 入学式

平成21年4月3日に、第61回入学式を環境科学研究所2階大会議室において挙行了。新入生は36名、第2学年に進級した者(第60回生)は35名で、在籍者は71名になった。

(2) 修業

前期授業 4月 7日から 7月15日まで
 前期試験 7月16日から 7月27日まで
 後期授業 10月 1日から 1月20日まで
 後期試験 1月25日から 2月 3日まで
 5月18日から22日まで、新型インフルエンザによる休講のため、前期授業の期間が例年に比べ1週間延長となった。

(3) 卒業式

平成22年3月10日に第60回卒業式を環境科学研究所2階大会議室において挙行了。卒業生は35名で、学校創立以来の卒業生総数は2,306名となった。

(4) 校外実習および見学

この実習および見学は、栄養教育および給食管理の実際を実地に修練し、また教育課程に関連した施設を実際に見ることによって、栄養士として具備すべき知識および技能全般を体得させることを目的としている。

ア 校外実習(臨地訓練)

厚生労働省の実施基準では、給食管理として学校・事業所において1単位以上とされているが、本校では、2年生を対象に臨床栄養学実習、公衆栄養実習、給食管理実習として病院2単位、社会福祉施設1単位、市立小学校1単位の臨地訓練を行った。

実施に際しては、学生を数名ずつのグループに分けて実習先に配属した。実習終了後、報告会で発表させ、さらにレポートを提出させた。

(ア) 学校実習(平成21年6月8日から6月12日まで市立小学校12校において35名)

栄小学校 4名、北鶴橋小学校 3名、平尾小学校 2名、真田山小学校 3名、天王寺小学校 3名、北中道小学校 4名、北恩加島小学校 4名、小松小学校 2名、啓発小学校 2名、日吉小学校 4名、南百済小学校 2名、諏訪小学校 2名



小学校実習風景

(イ) 社会福祉施設・保育園・保健福祉センター実習(平成21年8月3日から8月7日まで14施設において35名)

加寿苑 2名、ひまわりの郷 2名、香里寿苑 2名、おとしよりすこやかセンター西部館 2名、玉出東保育園 1名、ひかり保育園 1名、めぐみ保育園 1名、山之内保育園 2名、こひつじ乳児保育園 2名、博愛社保育園 1名、ヨルダン保育園 1名、北区保健福祉センター 6名、東淀川区保健福祉センター 6名、東住吉区保健福祉センター 6名

(ウ) 病院給食実習(平成21年8月31日から9月11日の間で10日間、13病院において35名)

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 4名、大阪赤十字病院 4名、大阪市立総合医療センター 2名、大阪市立北市民病院 2名、大阪市立十三市民病院 2名、大阪市立住吉市民病院 2名、共済組合連合会枚方公済病院 3名、貴島中央病院 2名、徳州会八尾徳州会総合病院 2名、日本生命済生会附属日生病院 2名、住友病院 4名、東朋香芝病院 2名、大阪市立大学医学部附属病院 4名

イ 施設見学

平成21年度に実施したものは次の通りである。

◎「'09食博覧会・大阪」(インテックス大阪)見学(平成21年4月30日=1・2年生)

◎「アサヒビール吹田工場」(サントリー山崎蒸留所)

見学(平成21年11月13日=2年生)

◎「機内食(関西国際空港)」「湯浅醤油」「梅干」「中野BC」工場の見学(平成22年3月29日・30日=1年生)

(5) 栄養教室

学生が日頃学んでいる教科や学習の内容を市民の方々に理解していただくと共に、栄養の知識を普及し、栄養指導の実践を体験してもらうことを目的に「栄養教室」を開催した。

「メタボリック・シンドローム」をテーマとして、平成21年11月6日に栄養指導を行い、昼食には「野菜たっぷりボリュームアップ」を主題とした献立を提供した。また、11月7日には学校の近くにある桃陽小学校の児童に対して親子教室を行った。

(6) 卒業研究(2年生)

平成21年7月28日～9月30日、2年生は環境科学研究所のほか、大阪市立大学医学部附属病院で研修し、次の通り16のテーマで、研究報告をまとめ、平成22年2月24日に卒業研究発表会を開催した。

課題名

1. イケチヨウガイによる公園池浄化作戦
2. 水環境における重金属の存在形態による動態解析
3. 洗濯機に潜むカビの特徴とルーツ
4. ヒト鼻腔分離黄色ブドウ球菌のエンテロトキシン遺伝子およびメチシリン耐性遺伝子保有状況
5. 調理に伴う脂質・ステロールレベルの変化に関する実測値と計算値の比較
6. 調理加工による卵中のビオチンの生体利用効率への影響
7. ダイコンの辛味成分 4-methylthio-3-butenyl isothiocyanate について
8. 白血球低下患者における調味料使用方法の検討
9. 食品の調理方法の違いによる脂肪酸組成の変化
10. 野菜中の微量元素に関する研究
11. 種実食品および苦味食品の青酸化合物
12. ミネラルアップ食摂取と味覚の関係について
13. 野菜を1日350g 摂取するための工夫
14. 調理くず中のミネラル調査
15. 環境に配慮した蚊の防除方法～メダカによる忌避効果と薬剤耐性
16. 食物アレルギーの除去食について

(7) 体験入学

平成22年度入学試験の受験者を募集するのに先立ち、高校生を始め社会人までを対象に、体験入学を実施した。本事業の目的は、参加者に模擬授業を行い、学校の教育方針、内容、水準などを知ってもらうとともに、栄養士の業務を理解してもらい、本校受験の参考としてもらうためである。

実施内容は以下の表のとおりである。

開催日時	平成21年8月1日(土) 午前10時～午後3時	平成21年8月4日(火) 午前10時～午後3時
10:00～	オリエンテーション	オリエンテーション
11:00～	模擬授業	模擬授業
12:00～	昼休み	昼休み
13:00～ 15:00	コース別実習 A:調理実習 B:コンピュータによる 栄養価計算	コース別実習 A:調理実習 B:コンピュータによる 栄養価計算 C:食品学実験
募集人員	38名	66名

実際の参加者は、8月1日が21名、8月4日が23名、合計44名であった。

(8) 入学試験

平成22年度入学生(第62回生)を選抜する入学試験は、平成21年11月25日に推薦入試の学科試験(化学I)と面接を行い、書類審査を含めた総合判定のうえ、

12月1日に合格者4名を決定し通知書を発送した。

また、平成22年2月13日に一般入試の学科試験(数学[数学I、数学A]、生物I、化学Iから1科目を当日選択)を実施し、同日に学科試験受験者54人に対して面接試験を行った。翌週2月20日に合格者32名を発表した。

平成22年度入試の出願者は推薦4名、一般55名で、競争率は推薦1倍、一般1.7倍であった。

(9) 第60回卒業生の進路

平成22年3月10日に卒業した第60回生(35名)の就職等の状況は次の通りである。

◎ 就職・進学者	32名
(内訳) 学校	2名
病院(官・民含む)	5名
社会福祉施設	12名
試験・研究室	4名
PR・栄養指導	2名
事業所給食	2名
その他	4名
大学進学	1名